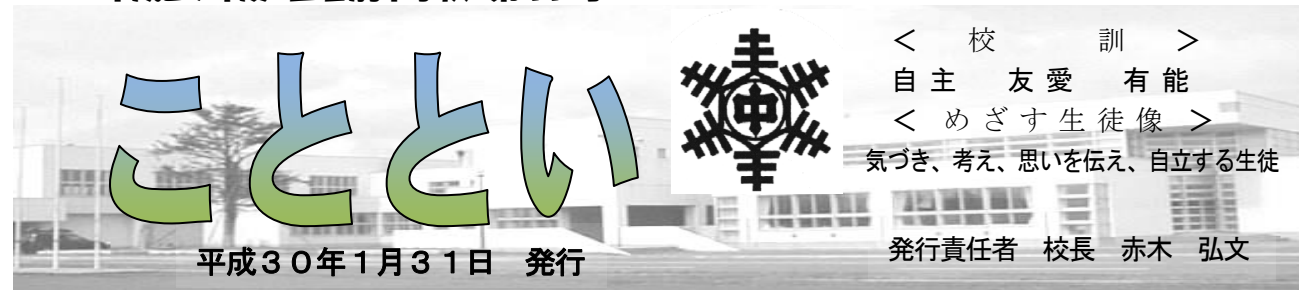


言問い(こととい)：50周年記念植樹イチイに命名されたものです。

平成29年度 西春別中学校 第11号



「新しい年を迎えて」

校長 赤木 弘文

新しい年、平成30年(2018年)が静かに明けました。謹んで新春のお慶びを申し上げます。年末から年始にかけては例年になく積雪が少なく、冷え込みも一段と厳しく感じられましたが、皆様におかれましてはご家族お揃いでゆっくりお正月を過ごされたのではないのでしょうか。

さて、学校も冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。休み中、閑散としていた校舎は、子どもたちの明るく元気な声に満ち溢れ生氣を取り戻しています。どの子も新しい年を迎えて、気持ちも新たにそれぞれの目標に向かって頑張ろうとしているようです。例年より積雪が少ないですが、リンク場では、元気よく滑走する姿が見られたスケート大会や金山スキー場でのスキー学習も晴天の中、無事終わることができました。

冬休みはお正月を挟んでの休みでした。子どもたちは、計画的に、そして有意義に冬休みを過ごしたと思います。また、近隣の学校では、「インフルエンザ」や「風邪」が流行しています。学校も始まりましたので、これから本格的な流行期に備えて、手洗いとうがいをしっかりして風邪をひかないように、インフルエンザにかからないようにご家庭でも子どもたちの健康管理をしっかりさせていただきたくご協力をよろしくお願い申し上げます。

ところで、学校にとって3学期は極めて大事な節目の期間となります。それは、学校にとっても子どもたちにとっても一年の仕上げの期間であり、とりわけ子どもたちにとっては卒業や進級という節目を迎える期間となるからです。したがって、それぞれの学年で身に付けさせなければならないことは確実に身に付けさせ、全校生徒一人一人が希望と自信をもって新しい一歩を踏み出せるように残された日数で、中学3年生は卒業後の高校進学に向けて、そして中学1・2年は次の学年への進級に向けてしっかり意識させながら指導に当たりたいと思います。

これからも、寒さが続く中にも気温の上昇の日もあります。ツルツル道路も心配です。気温の上昇とともに事故防止に努めていかなければと思っております。保護者、地域の皆様もご来校の際は校地の内外での駐車、歩行に十分ご注意ください。どうか、保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、本年も変わらぬ温かいご支援とご協力・ご理解をいただけますようよろしくお願い申し上げます。

別海町子ども会議(1月12日 金)

今年度2回目となる別海町子ども会議が、冬休み中の12日に行われました。本校からは生徒会三役の3名が代表として参加してきました。学校生活においてどんな問題点があり、どう解決していくべきかについて等、他の学校の児童生徒と交わり話し合われました。参加した生徒会長田中沙季さんの「小中学生が話し合うことで学校間の連携が取れ、地域が抱える課題が把握できる。新しいアイデアが浮かんだので、今後の活動に生かしたい」というコメントが新聞にも紹介されました。



校内スケート大会(1月24日 水)

風の強い日でしたが、寒さに負けず、生徒16名による全力滑走が見られました。スケートは、500Mと1000Mの2種目に、職員チームを加えてのリレーも行われ、会場は、大いに盛り上がりました。

保護者の皆様には、寒い中にもかかわらずたくさんの応援をいただき、さらには、凍えた体を温めてくれる豚汁とミルクコアの提供もいただきました。本当にありがとうございました。また、当日は朝早くから本校保護者の方のほか、小学校の職員及び保護者の方にも除雪のご協力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。



スキー学習(1月25日 木)

やはり風の強い日ではありましたが、天気には恵まれ、スキーを楽しんできました。小学生のときから行っていることで、生徒たちはみんな大変上手でした。リフトに乗って、何度も滑走するうちにも上達を見ることができ、中学生の吸収力の高さを感じました。

「もっと滑りたい!」「また、来たいな」という声がたくさん聞かれました。



〔2月の予定〕

2	金	学力テスト(1・2年) 入試模試(3年) 小学校への出前授業(英語)	11	日	建国記念の日
5	月	全校集会	12	月	振替休日
6	火	特別支援合同支援事業「冬のバス遠足」	14	水	職員会議
7	水	一日入学 北方領土の日弁論大会	16	金	参観日 ※5時間授業
8	木	カウンセラー講話(3年) 職員会議 ※5時間授業	17	土	数学検定
9	金	委員会 白鳥号	19	月	委員会
10	土	鈎根バドミントン学年別大会(中標津)			

裏面には第2回学校評価アンケートの結果をご紹介します。より良い学校づくりのため、皆様のご意見やご協力をよろしくお願いいたします。

学校評価アンケート結果

ご協力いただきまして、大変ありがとうございました。アンケートの結果を真摯に受け止め、改善への取り組みに邁進してまいります。今後とも、地域・ご家庭のみなさまのご協力をよろしく願っています。

項目	設問	評価項目	質問	教師		生徒		保護者	
				前回	今回	前回	今回	前回	今回
重点項目	3	学力向上 『わかる授業』	T生徒個々の実態を把握し、めあてとまとめを意識したわかりやすい授業を心がけている。 C学校(先生)は、私達人一人ひとりに応じたわかりやすい授業をしている。 P学校(先生)は、生徒個々の実態を把握し、わかりやすい授業に取り組んでいる。	4.4	4.3	4.5	4.4	4.3	3.8
	7	夢や希望を持ち 自立を促す 進路指導	T一人一人の生徒が夢や希望を持ち自立を促す進路指導に取り組んでいる。 C私は自分の将来や進路に夢や希望を持ち、かなえられるよう努力している。 P学校(先生)は、一人一人の生徒に夢や希望を持たせ自立を促す進路指導に取り組んでいる。	4.0	4.0	3.6	3.6	3.5	3.5
	9	コミュニケーション力	T生徒たちが互いに意見を出し合う場面を意図的に作り、コミュニケーション力が高まる指導を心がけている。 C授業中や学校行事などで自分のアイデアを出し、他の考えも取り入れながら意欲的に活動している。 Pお父さんは学習や学校行事などで意見を出し合い、活動を通してコミュニケーション力を高めるよう取り組んでいる。	4.4	4.5	3.8	4.1	4.2	3.9
学習面	4	関心、意欲	T生徒は学ぶ楽しさを実感しながら目的を持って意欲的な学習に取り組んでいる。 C私は学ぶ楽しさを感じながら、目的を持って意欲的に学習している。 Pお父さんは学ぶ楽しさを実感しながら、目的を持って意欲的に学習に取り組んでいる。	3.8	3.2	3.4	3.5	3.6	3.5
	6	計画性	T生徒は計画表などを効果的に利用し、効率的な学習に取り組んでいる。 C私は計画表などを効果的に利用し、計画的に学習に取り組んでいる。 Pお父さんは計画表などをもとに時間を守り、計画的に日々の学習意欲に取り組んでいる。	3.8	3.7	3.1	2.9	2.8	3.2
	5	家庭学習	T生徒の家庭学習を定期的にチェックし、一人ひとりに応じたアドバイスを心がけている。 C私は学校から出される課題や家庭学習に、いつも取り組んでいる。 Pお父さんは先生のアドバイスを参考に、効果的な家庭学習に取り組んでいる。	3.8	4.4	3.4	3.3	3.4	3.0
生活面	2	基本的 生活習慣	T学校は挨拶、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはんなど)が、しっかり身につくような教育活動を行っている。 C私は挨拶、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはんなど)が、しっかりできている。 Pお父さんは挨拶、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはんなど)が、しっかり身につけている。	4.2	3.8	3.8	3.4	4.3	3.7
	1	学校生活	T生徒は充実した学校生活を過ごしている。 C私は学校へ行くのが楽しい。 Pお父さんは充実した学校生活を送っている。	4.2	4.0	3.7	3.9	4.4	4.1
	8	関わり合い、 思いやりを育む 生徒指導	T個々の生徒に思いやりの心が育つような意識を持って学校の教育活動に取り組んでいる。 C私は友人や、家族などの思いやりの心や気持ちを考えてながら学校生活を送るよう心がけている。 P学校は、個々の生徒に思いやりの心が育つような意識を持って教育活動や指導に取り組んでいる。	4.6	4.4	4.3	4.4	4.3	4.0
	10	自己肯定感	T学校は学校生活を通して、お互いのよさを認め合いながら生活を向上させる指導を行っている。 C私は学校生活を通して、自分のよさ、相手のよさを認め合い、生活を向上させようと努力している。 Pお父さんは学校生活を通して、自分のよさ、相手のよさを認め合い、生活を向上させようと努力している。	4.6	4.5	3.8	3.8	4.1	3.8
その他	11	連携 (家庭/地域)	T私は、学校や学級の様子を十分に伝えている(提供している) C学校から出される通信は、学校の様子や出来事などの情報を十分に伝えている。 P学校から出される通信は、学校の様子や出来事などの情報を十分に伝えている。	4.2	3.4	4.3	4.1	4.2	4.3
	12	メディアコントロール	T生徒は、テレビ・DVD・ゲーム・インターネット(SNS)・動画など、時間やルールを守り適切に行っている。 Cテレビ・DVD・ゲーム・インターネット(SNS)・動画などは、時間が多くならないよう、時間やルールを決めて行っている。 Pお父さんは、テレビ・DVD・ゲーム・インターネット(SNS)・動画など、時間やルールを守り適切に行っている。		2.8		2.6		3.1

アンケート結果の概況

- ①教職員、生徒、保護者とも100%の回答を得ている。(前回は、2家庭が未提出)
- ②前回に引き続き、ほとんどの項目で中間点(3.0)を上回っている。
- ③三者ともにわずか(平均値0.1~0.3ポイントの間)だが、評価が下降している。
- ④メディアコントロールに関する項目を追加したが、三者ともに低評価の結果であった。
- ⑤前回同様に、三者ともに学習面の評価が低い。
- ⑥教職員の評価から
 - 「家庭学習」に関する取組が高評価となっている。
 - ▼「連携」に関する評価が低かった。情報発信・提供が十分ではなかったとの見解である。
- ⑦生徒の評価から
 - 「わかる授業」、「コミュニケーション力」、「関わりや思いやりを育む生徒指導」に関する項目で高評価
 - ▼「計画性」、「基本的な生活習慣」、「メディアコントロール」に関する項目の評価が低い。
- ⑧保護者の評価から
 - 「計画性」に関する項目で評価が高まっている。
 - ▼0.3ポイント以上下降している項目が7つと多かった。
- ⑨学習面に関する評価について
 - 「家庭学習」については、担任や教科担任などによるチェックやアドバイスは行われている。
 - ▼生徒及び保護者の評価によると「家庭学習」への取組は改善が十分ではないようだ。
- ⑩生活面に関する評価について
 - 三者ともに、楽しく充実した学校生活、関わりや思いやりを育む生徒指導に関する項目で評価が高い。

分析

- ②③ 微かに下降傾向ではあるが、三者ともに3点台後半であることから、現状に対する一定の評価はいただいているものと考え。
- ④ 学力調査などの結果から課題と目されていたが、全校的な課題であることが確認できる。
- ⑤⑦ 「わかる授業」を意識した実践は、生徒からの評価は依然として高い水準にあり、十分に実感できているようだ。保護者からの評価では少しポイントを落としている。学習内容や状況に関する情報が十分に伝わっていないのかもしれない。また、学力テストやCRT、定期テストなどの結果(得点)から感じている部分もあるのかもしれない。
- ⑥⑦⑨ 「家庭学習」については、担任などによるチェックやアドバイスなどが行われてきている。生徒・保護者で評価が伸び悩むのは、家庭での学習習慣が定着しない実態が引き続きあることを意味している。「計画性」や「メディアコントロール」との兼ね合いから考察してみても関連性の高さが窺える。評価から求められている理想形態は『メディアタイムを極力減らし、家庭学習に十分な時間を確保する』
- ⑩ 連携については、今回も生徒・保護者からの評価は高く、現時点での関係性の良さが窺える。

成果や課題、課題改善への取組

- 《成果面》
- 【生活面における安定 「学校生活」「関わり合い、思いやり」「自己肯定感」】
基本的な生活習慣を除けば、生活面における評価は良く、生徒たちは学校での生活や友達との関わりなどにおいて、それなりに納得しながら生活することができていると窺える。ただし、小さなトラブルが決して無いわけでもないため、今後も常に生徒の言動の様子の変化に敏感に反応できるようアンテナを張り、学校と家庭とが連絡を密にとりながら対応していくことが大切であると感している。
 - 【手立てと伸びる力】
「コミュニケーション力」の評価を見ると、生徒の評価が向上している。具体的には、「授業中や学校行事などで自分のアイデアを出し、他の考えも取り入れながら意欲的に活動している」に対する評価であるが、実際、文化祭という大きな行事を成功させた達成感やそこへの取組における個々の充実感があればこそその結果であると考えられる。また、本校で行っている校内研修においては、「自他の考えを交流し合い、さらに思考を深めていく」ということがねらわれており、授業の中に適切に反映させていくことができたことが、生徒にも感じ取られたのではないかと推察する。
このような具体的な取組に対し、子どもたちが実感をともなって『成長』と感じられる結果へと結び付けられたことについては胸を張りたい。また、自信をもってこれからの教育活動を推進していきたい。

《課題面》 家庭学習と生活習慣の見直し

- 【学校が行うこと】
『家庭学習』の手引きを参考にしながら、具体的な内容をこまめに示すなど、継続的な声かけをしていく必要がある」として、前回の結果から意識し、取り組んできたところである。生徒や保護者からの評価に反映させきれていないことから、引き続きチェックや適切なアドバイスなど個々の実態に合わせて行っていくとともに、更なる改善策を展開していく。
 - ・『家庭学習の手引き』の活用などにより、家庭学習や宿題の意義、効果的な取組を提示する。
 - 主体的な学習態度、家庭学習内容の充実
 - ・『家庭学習の取組への評価』のため、家庭学習への取組チェックと個に応じたアドバイスを行う。
 - 意欲向上と学習習慣の確立を図る
 - ・『授業との関連付け』を図る 授業の終末の過程で次時の見通しをもたせて宿題や家庭学習を提示する。
 - 授業内容と関連した家庭学習に取り組む
 - ・メディアタイムの縮減と家庭学習時間の確立に関する啓発
 - キャリア教育の視点とも関連付けながら
- 【家庭に協力いただきたいこと】
 - ・1日の生活サイクルの見直し
 - ◇平日~家庭学習時間として、90分程度を確保
 - 読書…まずは1日10分からスタート
 - 運動…1日60分(※体育の授業以外 家の手伝いや部活なども含めて考えてよい)
 - 睡眠時間…十分な休息が力を発揮させる
 - メディアタイムは2時間以内に…習慣化してしまっているのでは? 修正は可能なはず。
 - ・1日のサイクルを一緒に見直し、継続して励行していけるよう、家族の応援と協力が必要不可欠